

情勢報告（平成27年9月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

酒米現地検討会を開催



現地検討会の様子

8月24日、土佐町でJA土佐れいほく酒米生産部会が現地検討会を開催しました。嶺北地域では、今年は酒造好適米「吟夢」の栽培者が増加しており、特に初めて酒米を栽培する生産者も多いため、出穂後の栽培管理技術向上のために開催したものです。生産者20名に酒造会社も参加した会になり、普及所から現在の生育状況や今後の注意事項について説明しました。

今回は適期刈り取りのための収穫前巡回を行う予定です。

集落営農研修会（集落営農塾）を開催しました



集落営農塾の様子

8月28日、集落営農研修会（集落営農塾）を土佐町で開催し、土佐町内外の農家、農業委員、関係機関等40名の参加がありました。

今回は伊勢川営農組合の取り組み事例についての現地研修を行いました。伊勢川営農組合での具体的な取り組み内容については知らなかった人も多く「取り組み内容が参考になった」「高齢化とともに農地を守るために必要」との声も聞かれました。「集落営農について知識を深めたい」との意向も聞かれました。

今後も普及所では関係機関と連携し、集落営農組織の活動支援及び集落営農の推進を行っていきます。

れいほく版ISOにおける出荷場点検を実施しました



出荷場の清掃状況を確認中

JA土佐れいほく園芸部がれいほく版ISOの活動の一環である出荷場点検を9月3日に行いました。

園芸部役員、JA営農指導員、オブザーバーとして普及職員など7名が点検者となり、調整作業場の温度や明るさ、清掃状況、事故品発生時の対応や生産者への情報掲示などについて、点検シートに基づき15項目の確認を行いました。普及所は、客観的な視点で確認しました。

点検した結果をとりまとめて、園芸部役員会で改善点等についてさらに協議を行い、改善につなげることになっています。

シシトウの長期収穫に向けて ～大豊町でシシトウ現地検討会を開催～



熱心に説明を聞く農家の人たち

9月4日、JA土佐れいほく園芸部シシトウ部会は大豊町の栽培ほ場で第2回現地検討会を開催し、13戸の農家に参加しました。

普及所からは、この夏に特に発生が多かった石実について、気象の経過や発生要因とともに対応策に重点を置き説明しました。

農家からは、「6～7月の日照不足下での対策は？」など鋭い質問が出るなど、活発な意見交換会となりました。

今後は個別巡回に力を入れ、栽培が終わる11月までに少しでも増収につながるよう指導していきます。